

平成 29 年 5 月 2 日 (火)

中央学校給食センター

【献立名】 小型黒糖パン 牛乳 きのこの和風スパゲティ
ちくわの新茶揚げ アスパラとコーンのあえもの



【ひとロメモ】

(食事と文化)

新茶を味わおう

今日のめあては、「新茶を味わおう」です。

5月2日は、2月4日の立春から数えて88日目の日、つまり八十八夜です。小学校3年生の音楽で習う茶つみの歌の歌詞も、「夏も近づく八十八夜～」からはじまります。このように八十八夜は、春から夏に移る節目の日で、この日から夏の準備を始めます。今の時期はお茶を栽培している地域では、茶つみが最も盛んになる時期でもあります。お茶は、いろいろな病気の予防に効果があるようで、最近では、飲むだけでなく、たくさんの食品に加工されたり、「食べるお茶」として売り出されています。香川県では、三豊市の高瀬町や高松市の塩江町などが、お茶の産地として有名です。今日は、粉のお茶を入れた衣でちくわを揚げています。今が旬のお茶の香りを楽しみながら、味わって食べましょう。



平成 29 年 5 月 2 日 (火) 第二学校給食センター

【献立名】

小型黒糖パン 牛乳 きのこの和風スパゲティ ちくわの新茶あげ
キャベツのしらすあえ



【ひとロメモ】

香川県でとれたお茶について

「夏も近づく八十八夜・・・」で始まる「茶つみ」の歌を知っていますか？
立春から数えて88日目の日が八十八夜で、**今年は、今日5月2日**です。だんだん気候も暖かくなり、春から夏へと移る日です。昔からこの頃は、田んぼや畑に農作物の種をまくのに最も適した時期だといわれています。

また、お茶を栽培している地域では、茶つみが最も盛んになる時期でもあります。特に、この日に摘んだお茶は珍重され、縁起ものとして扱われています。

香川県では三豊市高瀬町や高松市塩江町などが、お茶の産地として有名です。

今日の給食では、ちくわに粉のお茶を入れた衣をつけて揚げています。お茶を使った料理を味わいましょう。



平成 29 年 5 月 2 日 (火)

飯山学校給食センター

【献立名】

小型黒糖パン 牛乳 きのこの和風スパゲティ
ちくわの新茶揚げ アスパラとコーンのあえもの

《今日の丸亀産の食材》

葉ねぎ・グリーンアスパラガス・
玉ねぎ・キャベツ・にんにく・きゅうり



【ひと口メモ】

新茶について



立春から数えて 88 日目の日が八十八夜で、今年は 5 月 2 日です。お茶を栽培している地域では、茶摘みが最も盛んになる時期でもあり、特に、この日に摘んだお茶は縁起物として大切にされています。また、香川県では三豊市の高瀬町や高松市の塩江町などがお茶の産地として有名です。

今日は、粉にしたお茶を衣につけてちくわを揚げており、新茶の香りが楽しめる料理になっています。